

平成23年 3月 31日

新宿区長 へ

法人名 NPO 法人 いきいき里の会
 所在地 新宿区住吉町 14-6 ベルウッドビル
 (フリガナ) イケベ ミチタカ
 代表者氏名 理事長 池 辺 道 隆

事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	独居高齢者孤独死防止事業
実施日時又は期間	平成22年6月17日～平成23年3月31日 上記期間中の全5回
対象者の範囲及び人数	新宿区々内在住高齢者および付添家族等 当該年度参加者 延べ267名
事業内容	毎回第一部「お笑いと演芸」 内容： 落語、漫才、漫談、講談 俗曲、紙切、コント、奇術 第二部「お楽しみ抽選会」
具体的な活動状況	第1回 22.6.25 四谷地域センター 三遊亭左圓馬・絵馬 第2回 22.9.17 " 三遊亭左圓馬・絵馬・美由紀 第3回 22.11.19 " 二代目三波伸介一座 第4回 23.1.22 " 三遊亭左圓馬。絵馬および 女子高生漫談クラブ一行 第5回 23.2.26 " 牧 伸二（東京演芸協会）一行
事業の成果	<p>当年度実施日の参加者延べ数は267名。但し当会会員の参加は除く。この他に対象期間外の4/23実施分の78人を含めると実延べ数は345名になる。回を重ねたりピーターの中には利用者同士で顔なじみとなり、隣り合わせて席を確保。杖を持つ高齢者、車椅子利用者も見かけるようになりました。此の会を心待ちしているとのこと。またある人は自分の地域にはこのような催しはないので、残念と言ってくる方々の言葉やこうして会の応援に来ていただけることは自信にもつながり、活動継続の責任を感じます。</p> <p>また、当該事業の参加者は男性が多いのは、この地域の大きな特徴といえるかも知れません。</p>

2 助成対象事業費内訳（実績）

※ 内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

※ 1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収入	経費	積算根拠（内訳）		金額
	団体負担金			459,981 円
	参加費・資料代等	優待券使用者 @300×193 人=57,900	一般 @500×74 人=37,000	94,900 円
	その他の収入			円
	協働推進基金助成金	助成金交付額		500,000 円
	計			1,054,881 円
支出 （助成の対象になる事業費の内訳）	費目	決算額	内訳	
	会議費	24,000 円	イベント会場借料 四谷地域センター(多目的ホール)@4,800×5回	
	宣伝費	126,185 円	チラシ等印刷 5 回分 104,900 円,同代金送金手数料 @105×5=525, チラシ新聞折込料 3460×6=20,760	
	リース費	円		
	消耗品費	32,580 円	イベント開催案内用紙、封筒代、パソコンインク代等	
	謝礼	480,000 円	6/25(2 人)5 万円、9/17(3 人)8 万円、11/19(7 人)15 万円、1/22(3 人)8 万円、2/26(4 人)12 万円 「舞台セッティング、抽選会を含め 3.5 時間拘束」	
	人件費	184,000 円	イベント事業開催活動及び会議出席活動費 @4,000×(6 名延べ 46 日分)	
	材料費	円		
	交通費	52,000 円	会議出席交通費@1,000×(6 名延べ 52 日分) 及び	
	その他諸経費	40,190 円	イベント開催案内郵送代 (5 回分) 29,060 イベント開催用品搬送料 9,870 謝礼振込手数料 1260	
助成対象事業費（小計）	938,955 円			
余 剰 金	30,523 円	500,000-(938,955÷2)		
助成対象外事業費	115,926 円	「お楽しみ抽選景品代」81,926 円,謝礼 2/26 分(10,000), 人件費超過分@4000×6 日分(24,000)		
事業総額		1,054,881 円		

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた目標について、どこまで達成できたか。	対象地域における当該事業参加者は、順次増加を見ており、他地域からの参加者もある。リピーター同志の顔馴染みも増え、友達づくりの一環として更なる活動の多様化に注意していきたい。
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	当該地域での活動は、回を重ねリピーターの様子から在住高齢者間の友達づくりや閉じ籠り防止に効果を齎し、今後にあっても孤立化防止の一助となれば幸いである。
費用対効果は適正であったか。	芸能界の支援協力も得られ、相応の対価と考えるが、今後は大学等の「落研」学徒によるクラブ制度等を検討し、費用面の節減も配慮した事業として更なる充実を図りたい。
新たに気づいた課題・問題点は何か。また、どのような対策が考えられるか。	近い将来、新宿区全域を対象とすることを前提に始めた事業であり、取り敢えず「四谷地区」に絞っての活動の実績から地域活動の原点は町会・自治会との連携が重要と考えている。
理解者や支援者が広がったか。	定期的なイベント実施と自治体の発行する広報の紹介記事等から、住民の理解者が増加し当会会員登録の希望者が増え現在、新宿在住会員は7名に達し地域活動として存在意義が高められている。
事務局の執行体制は十分だったか。	人手=旧職場OB会、資金=企画者の寄付、拠点事務所=旧職場の協力と恵まれた環境のスタートであり、拠点が地域情報を集め易い居住地でなかったことが唯一の難点であったが関係者の努力で地域に伝手を得られたことは幸いであった。
今回の事業を次年度以降も継続していく場合、助成金だけに依存せず、今後も安定的に事業を継続するための財源確保等に向けた取り組みはなされていたか。	設立当初から重要事項として意識し、イベント開催についても「参加費」を設定するなど、又会員の友人知己からの支援を図る手段として高齢者向きの日常使用のダイアリーとしての「手帳」を考案し、当会のPRと共に寄付・支援金等の謝礼に使用するなど策を講じた。今後も高齢者の利便を図る器具物品等を考案し、応援団体や個人の支援を受け易くできる対策を講じていきたい。
その他	希望として新宿区の助成資金対象団体への支援同様、登録団体の拠点会場の確保などに優先確保の利便が講じられることがあれば幸いです。

4 活動の成果

*事業の成果物(冊子など)又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。
*参加者の意見なども報告してください。

以上のとおり、ご支援のお陰をもって、この一年をくいることのない地域活動を継続させて頂きましたことを厚く御礼申し上げます。

新年度につきましても、当該「独居高齢者の孤独死防止活動」を目的として、自治体と地域住民の架け橋とした自助、協助、公助の実践に向けたNPO活動を継続して参ります。

結びとして、私どもが実施するイベント開催都度、参加者の協力をお願いしている至近の「アンケート」の一部をここにご披露申し上げ「参加者」の意見として報告します。

なお、当会が当初から実施した事業の実態を「イベント開催の写真集」として作成した記録をご参考までに添付します。

記

23.2.26 東京演芸協会(牧 伸二とその一行出演) 場所: 四谷地域センター 多目的ホール

◎ アンケート(写し)

性別	年齢	住居	情報源	参加回数	希望の開催日	希望の演芸	備考
女	75	新宿	新宿社協	初回	休日	落語	
男	79	富久	〃	2回目	休日	落語、マジックショー	
女	84	大京町	〃	3回目	土曜日午後	漫談、体力づくり教室	
男	72	須賀町	〃	2回目	休日	講談、講演会	
男	69	巢鴨	知人紹介	初回		マジックショー	
男	73	市川	知人紹介	初回		漫談マジックショー	
男	71	新宿	身内紹介	初回		津軽三味線	
女	75	市谷	知人	4回目	平日	ギター演奏	
男	73	代々木	知人	初回	平日	落語、講演会	
女	69	沼袋	知人	初回	平日	講演会	
女	90	新宿	知人	初回	平日	漫談	
女	75	市谷台町	知人	4回目	平日	落語、漫談	
女	70	四谷	新聞折込	初回	平日	ギターマンドリン等	
男	78	戸山	チラシ	3回目	平日	落語、講演会	
女	91	愛住町	ぬくもり	初回	平日	落語、漫談	
女	70	四谷	新聞折込	初回	平日	落語、マジックショー	
女	78	四谷	ぬくもり	3回目	平日	良い本の初回	
男	75	葛飾	知人	2回目		落語、合唱	
女	78	愛住町	ぬくもり	3回目	平日	体力づくり教室	
女	84	新宿	ぬくもり	2回目	平日	落語、	
女	88	四谷	チラシ	5回目	平日	落語、講談	

以上